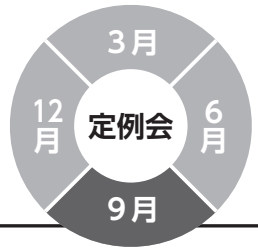
よしかわ 市議会だより

News from Yoshikawa City Council



No.211

発　行　吉川市議会
編　集　広報委員会
発行日　令和８年11月１日



吉川市役所から臨む吉川運動公園

目次CONTENTS

９月定例会概要 …… 2
委員会審査概要 …… 4
討論 …… 6
市政を問う　一般質問 …… 9
提出議案とその結果 …… 14

市議会へ
アクセス
してみよう！

マチイロ

検　索

議会だよりは
スマートフォンアプリ マチイロでも読めます

9月定例会 概要

令和8年9月定例会は、8月31日から9月18日までの19日間の開催となりました。

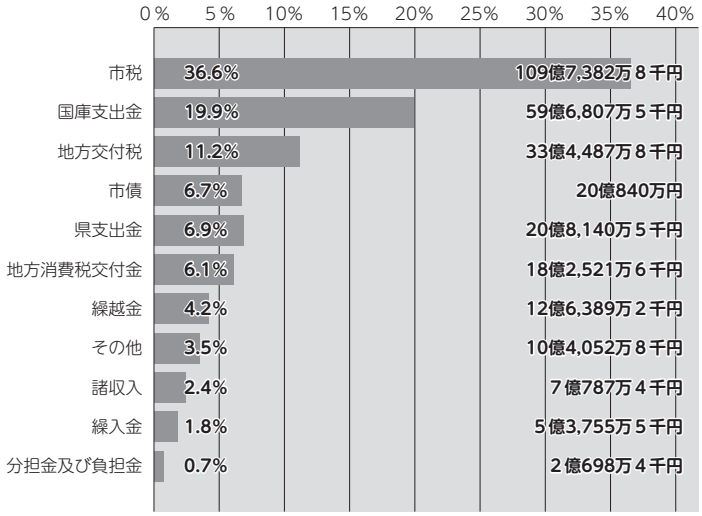
今回の定例会では、令和7年度吉川市一般会計決算の認定をはじめ、令和8年度吉川市一般会計補正予算（第2号）などの市長提出議案22件、議員提出議案として2件の意見書などを審議し、議決しました。（審議結果は14～15ページ）

その他、「市政に対する一般質問」（9～13ページ）をお知らせします。



令和7年度 決算を認定しました

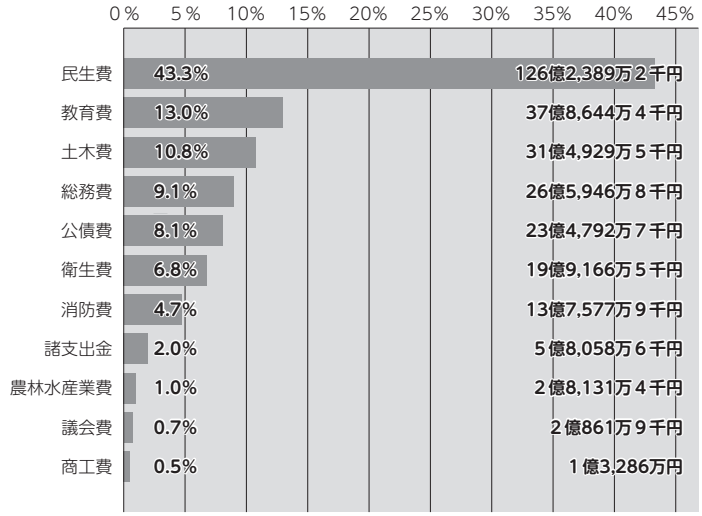
一般会計歳入　299億5,863万5千円



歳入

区分	決算額（千円）	対前年度比（千円）
市税	10,973,828	775,409
国庫支出金	5,968,075	△10,156
地方交付税	3,344,878	175,920
市債	2,008,400	△836,149
県支出金	2,081,405	111,961
地方消費税交付金	1,825,216	125,086
繰越金	1,263,892	△119,472
その他	1,040,528	△265,337
諸収入	707,874	△92,860
繰入金	537,555	143,048
分担金及び負担金	206,984	△68,448
歳入合計	29,958,635	△60,998

一般会計歳出　291億3,784万9千円



歳出

区分	決算額（千円）	対前年度比（千円）
民生費	12,623,892	950,995
教育費	3,786,444	△171,409
土木費	3,149,295	△581,120
総務費	2,659,468	△302,189
公債費	2,347,927	217,979
衛生費	1,991,665	△130,853
消防費	1,375,779	102,729
諸支出金	580,586	355,183
農林水産業費	281,314	△6,343
議会費	208,619	4,337
商工費	132,860	△57,202
歳出合計	29,137,849	382,107

令和7年度 決算に対する 議案質疑のご紹介

再生可能エネルギー

問 小中学校で再生可能エネルギーが使用されていることについて児童生徒、保護者にどのように周知したか、また省エネ教育、環境教育にどのように繋げられたのか。

答 学校での再生可能エネルギーの周知・教育については、施設で使用している電力が再生可能エネルギー100%であることを記したポスターを、全小中学校に掲示し周知を図るとともに、学習指導要領に基づき小中学校の該当教科において再生可能エネルギーに関する学習を行っている。



◆特別会計・企業会計

特別会計は、特定の目的のための会計です。

例えば、皆さんの健康維持に欠かせない国民健康保険、介護保険および後期高齢者医療事業。また、吉川美南駅東口周辺地区の整備を行うための、吉川美南駅東口周辺土地区画整理事業があります。

企業会計は、市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かすことのできない水道事業および下水道事業があります。また、農業用排水の水質汚濁を防止する農業集落排水事業があります。

特別会計

国民健康保険特別会計

歳入(収入)	63億8,019万5千円	増減率	0.5%減
歳出(支出)	62億　290万5千円	増減率	0.2%減

介護保険特別会計

歳入(収入)	50億5,259万4千円	増減率	4.1%増
歳出(支出)	48億6,074万8千円	増減率	4.0%増

後期高齢者医療特別会計

歳入(収入)	11億4,408万円	増減率	10.5%増
歳出(支出)	11億2,366万9千円	増減率	9.7%増

吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計

歳入(収入)	51億9,164万7千円	増減率	36.5%増
歳出(支出)	51億5,730万2千円	増減率	35.9%増

企業会計

会計名		収　入	支　出
水道事業会計	収益的	19億2,971万1千円	15億9,205万1千円
	資本的	6億9,785万円	10億3,029万円
下水道事業会計	収益的	16億8,687万5千円	15億3,540万8千円
	資本的	8億7,885万円	11億8,132万3千円
農業集落排水事業会計	収益的	5,465万1千円	5,302万2千円
	資本的	1,150万9千円	1,699万2千円

※企業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保分資金などで補填します。

市長提出議案

委員会審査概要

総務健康常任委員会

◆市職員定数条例の一部を改正する条例

問業務量の最大はいつ頃を想定しているのか。

答令和10年度頃に業務量が最大となる見込み。以降は定員適正化計画、財政状況を踏まえ必要最小限度の職員体制を目指す。

賛成全員で可決

◆令和8年度一般会計補正予算（第2号）

問歳入「国庫支出金・社会資本整備総合交付金」事業により増減が見られ、減額事業は年度当初の予定から縮小せざるを得ない。大きな損失では。

答要望が多く交付決定額減少とのこと。報道等で通常通りの補助率での交付見込みと考える。

賛成全員で可決

◆令和8年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

問基金繰入金減額。国保税の引き上げは過大だったのでは。

答今後も被保険者数の見込みとの乖離や収納率の影響により基金の状況は変わっていく。適切であったと考える。

賛成全員で可決

◆令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定について

問歳入のうち市税、調定額と収入済額の差の評価は。

答可能な限り年度内の予算化を図っているが、歳入割れが起こらないようある程度の余裕を見る必要がある。

問吉川市はひとりあたり国庫支出金が少ないのでは。

答全国類似団体と比較すると少ないが、県内類似団体と比較すると平均的。多い自治体は生活保護率の高さなどで説明ができる。

賛成多数で認定



戸田　馨　委員長

こども教育常任委員会

◆第43号議案市立学校設置条例の一部を改正する条例

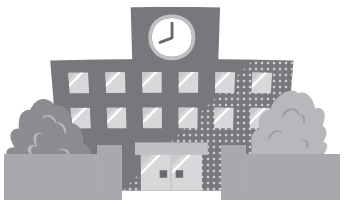
問教育委員会で統廃合案が了承される前に、学校運営協議会で話されるべきでは。

答学校運営協議会は基本的に学校長が議題を決め、学校の基本方針や評価等の学校の経営等に関し、限られた回数の中で話し合っている。今後は円滑な移行に向け話し合っていただく予定。

問プロセスに疑問。理解を得られるよう進めるべきでは。

答様々な意見があるが、教育委員会として一定の段階で決断が必要。今後も様々な意見を聞き一緒に考えていただき、よかったと思っていただけるような進め方を展開したい。

賛成多数で可決



◆第56号議案令和8年度一般会計補正予算（第2号）

問地区センター費「空調機修繕費」昨年度の修繕時に一緒にできればコストが下げられたのでは。

答昨年度補正は貸館部分。その後共用部に不具合が生じた。

賛成全員で可決

◆第48号議案令和7年度一般会計歳入歳出決算の認定について

問学習支援教室について、開催場所変更の成果は。

答通いやすさから参加率が上がった。

問不登校児童生徒数が増加している要因は。

答欠席の分類上、病気に含まれていたものが不登校に分類されたことによる増。

問スペシャルサポートルーム通室による進路相談のばらつきはないか。

答生徒登校時に合わせ担任が行うため、他の生徒と同様。

賛成多数で認定


林　美希　委員長

建設生活常任委員会

◆令和8年度一般会計補正予算（第2号）

【農林水産業費・農業振興費】

問 地域農業構造転換支援事業費補助金の対象者と支援内容について。

答 農業パークに参入する事業者一者に対する補助金。なお、法人であるため、上限額3千万円の補助額となっている。内容は、イチゴ栽培ハウスの建設及び付帯施設一式となる。

【土木費・道路新設改良費】

問 吉川駅北口改修事業の今後のスケジュールについて。

答 令和8年度は、令和7年度の工事を繰り越して施工していた。また、令和8年度工事は、西側駐輪場前のシェルターと歩道整備を予定。令和9年度は、北側のりそな銀行前のシェルターと歩道及び有料駐車場の整備を予定している。

賛成全員で可決

◆市道の路線廃止及び認定について

問 認定する道路は、道路幅員、交通安全施設などについて、整備基準を満たすものか確認しているのか。

答 職員が現場立ち合いをし、市道認定の要件に見合うものか検査している。また、整備後に道路の一部が破損していないかなども確認している。

賛成全員で可決

◆令和7年度一般会計決算

【土木費・建築指導費】

問 減額理由は。

答 耐震診断3件、耐震改修3件分の予算に対し、実績として耐震診断1件だったため。

【消防費・減災費】

問 食料等の備蓄は、発災から3日間は対応できるのか。

答 発災から3日間程度を基準に備蓄を行っている。長期化する場合は様々な策を講じる。

賛成多数で認定


降旗　聡　委員長

注目の議案

◆吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例

市が設置している小学校は、旭・吉川・三輪野江・関・北谷・栄・中曽根・美南の8小学校です。市全体の児童数が減少しており、その中でも旭小学校区においては、今後さらに減少し100人を下回る見通しです。

国の手引『学校規模の適正化に関する基本的な考え方』では、「児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、時には競い合って学びを高めることを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要となります。」と記されています。

この考え方を踏まえ、旭小学校の児童数については、10人未満の学年もあることに加え、大幅な児童数増加も見込めないことから、地理的条件や今後の児童数の推移を踏まえ、令和10年4月に近接する関小学校と統合するものです。



賛成・反対討論

●吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例 ……【6P・7P】
反対討論6名　賛成討論3名

●令和7年度一般会計決算……【8P】
反対討論1名　賛成討論2名

●令和7年度国民健康保険特別会計決算……【8P】
反対討論1名

●令和7年度水道事業会計決算……【8P】
反対討論1名

◆吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例

反対

自由民主党吉川市議員団
松﨑　誠　議員

児童数の減少を理由に旭小学校を関小学校へ統合する議案に反対します。児童数の減少と学校をなくすことは同じではありません。旭小学校は、明治６年に勝海舟が名付けた郁文学校を源流とし、地域の子どもたちを今日まで育ててきました。吉川の教育と歴史を象徴する学校です。統合による教育環境の向上だけでなく、子どもたちの通学や生活への負担、地域とのつながりなど、失われるものも含めた検証が必要です。また、学区の見直しや小規模校の特色を生かすなど、統合以外の選択肢を尽くしたのかも明らかではありません。保護者や地域との合意形成も十分とは言えません。拙速な統合ではなく、慎重な議論と検討を求め、反対します。

反対

平和市民クラブ
岩崎　小百合　議員

反対理由は３点です。①統廃合の当事者である子ども達自身の意見が十分に聞き取られ、意思決定に反映されたとは言えない点です。今年２月の教育委員会会議で、初めて「旭小学校及び三輪野江小学校の今後の在り方について」議案が上がりました。この会議前に、子ども達の聞き取りが行われたランチミーティングは１回のみでした。検討の初期段階から子ども達に十分な情報を伝え、統合案を３つに絞る前から、時間をかけて意見を聞く必要があったのではないでしょうか。②保護者や地域住民への説明・意見聴取、合意形成が十分に尽くされたとは言えない点です。③決定に至るまでのプロセスが拙速で、議論の過程が不明瞭な点です。

反対

自由民主党吉川市議員団
吉川　敏幸　議員

旭小学校の統廃合案に反対討論しました。反対理由は、①統廃合の前提となる学区審議会の適法性が司法の場で争われていること、②こども基本法第 11 条に基づく子どもの意見聴取が十分でないこと、③国が推奨する住民への十分な意向調査が行われず、3,755 筆の反対署名など住民の声が反映されておらず、合意形成が出来ていないこと、④旭小学校の不登校児童ゼロという実績や教育環境を踏まえた小規模特認校など代替案の比較検討すら行っていないことなどです。議会は条例案を否決し、子どもと地域の声を踏まえ、市全体の問題として最善の教育環境を一から再検討すべきであり、そうすることこそが政治の責任だと訴えました。

賛成

SELECT吉川・自民・参政・維新・無所属
稲葉　剛治　議員

150 年以上にわたり、地域の皆様が守り育ててこられた旭小学校。その歴史への誇りと、統合に対して寄せられた寂しさ、不安、そして反対のお声を、真摯に受け止めてまいりました。

「これから 10 年、20 年を生きていく子どもたちにとって、何が本当に必要な教育環境なのか」。集団の中でこそ育つ力があります。「複式学級」は教育の選択肢を狭めてしまいます。

さらに単学級のままでは６年間クラス替えができず人間関係が固定化してしまいます。統合の準備期間において安全なスクールバス運行や通学路整備、旭小の活用等。今後も行政、議会共に対話が必要です。この決断は、誠実で前向きな選択であると確信しております。

賛成

未来会議よしかわ
戸田　馨　議員

４つの論点に対し会派として考えを示した。児童数の減少という客観的な状況や教育環境上の課題への判断を先送りする間に、子どもたちが多様な人間関係や学びを経験する機会が失われる可能性がある。施行まで引き続き丁寧な説明を行い、残る不安や懸念に向き合っていく。議論や異なる意見表明は民主主義において大切なこと。しかし、議論の中で生まれたさまざまな感情やそれら思いを子どもたちが背負うことがあってはならない。旭小学校の歴史に敬意を払い、その歩みを心に刻みながら、次の時代を生きる子どもたちにより良い教育環境を引き継いでいく。これからの旭地区を地域の皆さまとともに考え新たな価値をつくっていくことが重要。

反 対

日本共産党吉川市議員団
雪田　きよみ　議員

市は旭小学校統廃合の理由として、少人数だと「コミュニケーション能力が身に付きにくい」としている。しかしこの言説にはエビデンスがないとも明言した。「旭小学校・三輪野江小学校をそれぞれ関小学校・栄小学校に再編する案」はどのような過程を経てまとめられたのか、記録もなく不透明。しかも市長キャラバンやPTA説明会で案を示した後の今年２月、初めて教育委員会で審議している。独立性･中立性が保たれ、機能が果たされていると言えない状況。市の教育大綱で「郷土を愛し」と言いながら、住民の気持ちを蔑ろにしている。それで郷土を愛することができるのか。愛せるような住民の理解・納得の上の施策こそが求められている。

反 対

日本共産党吉川市議員団
遠藤　義法　議員

吉川市教育委員会、吉川市政は、子どもたちや保護者、住民の率直な意見を丁寧に聞き、審議、協議内容を開示することが最低限求められます。しかし、市がすすめる旭小の関小への統廃合の進め方は、市民の理解を得るプロセスを踏んでいません。アンケートも取っていません。「丁寧な審議と公開」を求めて提出されたのが3755筆の「陳情書」です。

議会議員は、市民から負託を受け、市民の願いを受け止め、市政をチェックし、市の判断や市民が納得できない進め方をしていたらこれを改めさせるのが役割です。

今回の議案は否決し、もう一度、市民の意向に沿った丁寧な審議を教育委員会に求めるべきです。

反 対

平和市民クラブ
岩田　京子　議員

今回の進め方は丁寧さと公平性を欠いている。教育委員会の熟議は見えず、市長部局主体の一年間。アンケート要望を無視し、児童・住民の意見聴取もパブリックコメントもないが、一自治会だけは職員が私的に説明に参上。市は全体的な学校配置の議論もなく、一学年９人の卒業前にと旭小学校の統廃合を急いだ。なぜか「令和10年４月からの統廃合」を忠実に守り、全てが急かされた。教育委員会も学区審議会も１日限りの議論で決定。通学路の審議は未了のまま。教育委員会を前倒し、議会上程に滑り込ませる様。3755名の陳情、訴訟、児童の手紙等は、この拙速な進め方の当然な結果だ。議論の量と質を取り戻し、市民の信頼を回復するべきだ。

賛 成

未来会議よしかわ
林　美希　議員

賛成の立場から議決にあたる議員との共有認識をはかるため、議場で責任をもって発言するべき議員の反対討論に対する討論をする。

①議案質疑や委員会審査での答弁と異なる内容が反対の理由とされていた。②小規模校への懸念事項に対して「小規模校を見下すよう」と表し、その後に市内大規模校への懸念事項を述べていた。それは「大規模校を見下している」と取られてしまうのではないか。こうした上げ足取りをしたいのではない。想像力を持って表現に気を付けていただきたい。③県立高校の共学化に対する意見書の賛否が引き合いに出されていたが、全く関係ない。

本質で議決にあたっていただきたい。

「第43号議案　吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯意見を可決

本条例の可決にあたり、議員から以下のとおり「付帯意見」が提出され、その是非や実効性をめぐって４名の議員による討論が行われました。

付帯意見　旭・三輪野江地域において、東中学校へ施設一体型小中学校一貫校の設置を含め、将来にわたり持続可能な教育環境の在り方について検討することを求める。

【賛成多数で可決】



議員が付帯意見に対して賛否の意見を述べる「討論」の様子を、議会インターネット中継（録画配信）でご覧いただけます。ＱＲコードから直接ご視聴いただけます。

△詳細はこちら

賛 成

未来会議よしかわ
林　美希　議員

法令に準拠し適正に処理された決算と確認できた。「命を守る」取り組みについては共保雨水ポンプ場の増強などの治水対策。「子どもの笑顔を未来につなぐ」取り組みについてはこども家庭センターによる切れ目ない支援体制の構築。「誰もが輝くまちをみんなで創る」取り組みについて重層的支援体制の構築。「価値を高め、次世代に継承する」取り組みについては農業パーク基本構想の具体化、給食センター・環境センターへの再生可能エネルギー 100％電力導入。これらは一部だが、施政方針に掲げた「市民一人ひとりの幸福実感の向上」を基本理念とした各施策の進捗、決算数値・審査結果を踏まえ、会派「未来会議よしかわ」は決算を認定する。

◆令和７年度一般会計決算

反 対

日本共産党吉川市議員団
遠藤　義法　議員

市は、市民との協働でまちづくりを進めるとしています。しかし、旭小を関小に学区編入する市の姿勢は、この協働をないがしろにしています。市民から提出された丁寧な説明を求めた「陳情書」は、このことを言い表しています。

議会で請願が採択された「高齢難聴者の補聴器購入助成」は実施せず、高齢者配食サービスなどの高齢者・障害福祉サービスの見直し、廃止を決めました。高齢者が生きがいをもって安全にくらしていくための代替策を市は示していません。

物価高の影響を受ける低所得者世帯への支援や市民へのきめ細かい物価高対策を講じ、誰一人取り残さないという姿勢を貫くべきです。

◆令和７年度国民健康保険特別会計決算

反 対

日本共産党吉川市議員団
雪田　きよみ　議員

令和７年度の税率改正の結果、63 歳所得 100 万円、１人暮らしの国保税は令和３年度の 10 万 9,400 円から 12 万 8,000 円に 17%引き上げられた。

４人家族で所得 300 万円の家庭は、44 万 2,400 円から 52 万 600 円に７万 8,200 円、17.7%の引き上げ。所得の 12%が国保税。課税世帯に占める滞納世帯の割合は 11.7%である。令和９年度の準統一後の国保税は、４人家族で令和７年度から６万円以上の引き上げが想定される。

市は「税負担の公平性を確保しつつ、国保を安定的に運営することは重要」と答弁したが、これが公平で安定的と言えるだろうか。社会的公平を実現することは、国・地方自治体の責務である。市の姿勢は国や県の言いなりである。

賛 成

公明党吉川市議団
大泉　日出男　議員

令和７年１月に起こった八潮市での下水道管の陥没事故を受け、当市でも即座に点検作業が行われた。また小中学校体育館の空調設備整備が令和７年度をもって全校完了となった事も評価。学校教育では、校内スペシャルサポートルームを中央中学校へ広げ不登校生徒を極力生まないような良好な環境作りをし、成果を生むこととなった。物価高対応としては、低所得者や子育て世帯への給付、事業者等、状況に応じた支援が行われた。移動支援については、「吉川市地域公共交通計画」が策定されたことで、地域の力による意識の醸成が広がると期待。市民の幸福実感の向上と、持続可能なまちづくりに向けた取組みが進んだとして評価し賛成とする。

議会用語

議案	議会の議決を要する案件のことです。議案は市長が提出するもの、議員が提出するもの、および委員会が提出するものがあります。
一般質問	議案に関係なく、市の行政全般について、市長や教育長等の執行機関に対して見解を問う質問です。
討論	議題となっている案件について、採決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。
付帯意見	議案を議決するにあたり、議会の希望意見として付するものをいいます。

◆令和７年度水道事業会計決算

反 対

日本共産党吉川市議員団
飯島　正義　議員

令和６年 10 月から平均 24% の水道料金の引き上げが行われました。料金改定の理由は、老朽化した施設更新事業と石綿管の布設替えなどです。令和７年度の予算額は、施設更新事業４億 9569 万 3000 円、配水改良費５億 7367 万 3000 円でした。しかし、未執行分の予算を来年度に繰り越したとしても、石綿管の布設替えは計画 1951 mに対し 785 mの実施でしかありません。料金引き上げで、市民負担が増えています。財源を活用し、老朽化した施設や水道管の更新、石綿管の布設替えを積極的に進めるべきと考え反対します。



市政を問う 一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いただすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今定例会では、9月16日（水）、17日（木）、18日（金）の3日間にわたり14名の議員が登壇し、市政課題への提言や質問を行いました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、12月上旬となる予定です。

1日目

◆降旗 聡 議員 …… (10ページ)
●市内の空き家は増加傾向、所有者は適切な維持管理を

◆五十嵐 恵千子 議員 …… (10ページ)
●学校の規模・配置の適正化と東中学校を小中一貫校へ

◆大泉 日出男 議員 …… (10ページ)
●災害時における応援職員の受け入れについて

◆加藤 克明 議員 …… (10ページ)
●8月13日豪雨、「吉川美南地下道」の冠水について

◆宮窪 雅一 議員 …… (11ページ)
●辺野古沖事故後の本市の平和教育、校外学習の確認

◆岩田 京子 議員 …… (11ページ)
●市民が政策決定の過程を知るための仕組みを

◆遠藤 義法 議員 …… (11ページ)
●中央中南押しボタン式信号機設置で安全対策を
●地域の公共施設、存続を

2日目

◆岩崎 小百合 議員 …… (11ページ)
●学校給食の充実とオーガニック給食の推進を

◆松﨑 誠 議員 …… (12ページ)
●原動機付自転車の廃車後の課税と市民への周知

◆雪田 きよみ 議員 …… (12ページ)
●在宅介護従事者の安全確保を

◆飯島 正義 議員 …… (12ページ)
●命を守る住宅の耐震化を早急に
●避難所となる体育館の空調整備を早急に

◆吉川 敏幸 議員 …… (12ページ)
●災害廃棄物処理体制の構築を

3日目

◆林 美希 議員 …… (13ページ)
●市民活動を支える補助交付制度の再構築について

◆戸田 馨 議員 …… (13ページ)
●職員の働き方、公務員として働く価値について
●人口減少時代のまちづくりについて



五十嵐（いがらし）　恵千子（えちこ）　議員



学校の規模・配置の適正化と東中学校を小中一貫校へ

問 公明党は、児童生徒のより良い教育環境確保のために、これまで地域に開かれた小中一貫校の設立を推進してきた。①本市が目指す小中学校の適正規模・配置の基本的な考え方は。②今後、分断を生まないように、（仮称）北部・中央・南部地域学校適正化協議会のような検討体制を構築することが重要と考えるが、見解を伺う。③旭・三輪野江地域の教育環境向上とコミュニティの核として、財政面では計画的に基金を積み立て、東中学校を建て替え又は大規模改修を加え、新たな時代にふさわしい「施設一体型小中一貫校」にすべきと考えるが、見解を伺う。

答 ①一定の学校規模を確保し、児童生徒の教育条件改善の観点を中心に、良好な教育環境を将来にわたり確保することを基本に考えている。

②現時点では想定していないが、必要に応じて、ふさわしい協議ができるよう図っていく。

③現時点では想定していない。今後の児童生徒数の推移を見ながら、将来にわたり良好な教育環境を確保できる学校の在り方を検討していく。

降旗（ふりはた）　聡（さとし）　議員



市内の空き家は増加傾向 所有者は適切な維持管理を

問 市内の空き家数と傾向について伺う。

答 総務省統計局が５年ごとに実施している「住宅・土地統計調査」によると、賃貸・売却用の住宅などを含めた空き家の総数は、平成 30 年の 1780 戸から令和５年には 2670 戸と全国的な結果と同様に増加傾向である。また、「利用目的のない空き家」についても、平成 30 年の 600 戸から令和５年の 790 戸となっている。

一方で、本市独自の空き家を把握する取り組み（市民・自治会・市職員による情報提供）の結果、直近の令和８年８月末時点で「利用目的のない空き家」として 101 戸を確認している。

問 苦情や相談、その後の対応について伺う。

答 令和７年度における苦情や相談件数は全体で 34 件。敷地内の除草や樹木の伐採が 26 件、建物の軽微な一部損傷に関するものが２件など。

また、苦情などを受理した後の対応は、現地調査を実施。所有者を特定し、可能な限り直接訪問し、適正な維持管理を依頼するとともに、利活用や売却、除却など状況に応じた助言を行っている。

加藤（かとう）　克明（かつあき）　議員



８月13日豪雨、「吉川美南地下道」の冠水について

問 冠水状況、通行止め、車両の立ち往生は確認されたか。また、冠水の原因は。

答 午後６時頃から午後７時 30 分頃までの間に冠水、下り線で１台車両が立ち往生。排水ポンプは正常に稼働していたが、集水溝にゴミが堆積し冠水したと聞いています。

問 車両進入を防ぐため、側壁面などに反射材、高輝度表示、自動遮断機、信号１つ手前で迂回を促す掲示板の設置を考えては如何か。

答 「夜間でも視認できる浸水深表示」の設置については、ドライバーに視覚的に冠水の状況を知らせる手段として認識しており、各自治体の取組みや実効性など踏まえ、検討してまいります。

問 埼玉県公表の「アンダーパス冠水要注意箇所」に位置付けされています。具体的な対策案を示し、県と協議、調整をして行くことが重要であると考えますが如何か。

答 国においても、アンダーパス安全対策が進められており、今後、国や県の動向や、ご提案いただいた内容も踏まえ、協議を図ってまいります。

大泉（おおいずみ）　日出男（ひでお）　議員



災害時における応援職員の受け入れについて

問 本市では令和６年３月に受援計画を策定しているが、計画の位置づけ及び対象業務は。

答 吉川市地域防災計画の下位計画としての位置づけとし、業務継続計画を補完するもの。

問 避難所運営、住家被害認定、罹災証明書交付、被災者相談などについて、災害時に必要となる職員数と、不足が見込まれる職員数を事前に算定しているのか。

答 受援シートがあり、業務内容に応じて各班ごとに行われ、人手が足りない業務内容を適時に要請をしていく。

問 応援職員の受入れを統括する体制、執務場所、通信環境、宿泊場所、各部局への配置等は整備されているのか。

答 状況による。統括班が担い、場所や通信環境を提供し柔軟に対応をする。

問 熊本地震を受け本市の受援計画をあらためて点検する考えは。

答 減災プロジェクト等をいかし平時からの研修を含め、適時見直しをしていく。

岩田　京子（いわた　きょうこ）　議員



市民が政策決定の過程を知るための仕組みを

問 市では重要な政策の審議・決定を政策会議で行う。「忌憚のない意見交換」「審議内容が利益に関わる」等を理由に非公開で行われることには一定の合理性がある。しかし、非公開会議にすることと、その記録を将来にわたって非公開とすることとは別の問題だ。市民は最終的な決定の報告を受けるだけでなく、そこに至るまでにどのような検討や議論が行われたのか知る権利がある。市民や議会が後から検証できることが、行政の透明性及び説明責任の観点から重要だ。一定期間経過後や政策決定・終了後の公開の仕組みが必要ではないか。

答 政策会議においては、要点筆記による会議録を作成している。公開・非公開に関しては、吉川市情報公開条例に照らし、個別に判断、決定するため、一定期間経過や政策決定などを理由に会議録を一律に公開する仕組みはなく、予定もない。会議録は、後年の検証のためでなく、決定事項や議論内容について構成員で認識を共有するため。 市は、決定した政策について、市民に適切に説明することで透明性確保と説明責任を果たすと考えている。

宮窪　雅一（みやくぼ　まさかず）　議員



辺野古沖事故後の本市の平和教育、校外学習の確認

問 平和教育や校外学習の政治的中立性、教育課程との適合性、安全管理について、市はどのように確認しているのか。

答 毎年度、各学校に教育課程の編成状況の提出を求めており、平和に関する各教科での授業も含めて、学習指導要領や教育課程に沿ったものであるかどうかを確認している。

　修学旅行や校外学習については実施前に校外行事承認願いの提出を求めており、活動内容、緊急時の体制、安全面での配慮を精査し承認、必要があれば指導を行っている。さらに令和８年４月７日付け文部科学省通知「学校における校外活動の安全確保の徹底等について」を各学校に周知し、事前の実地調査などにより行程の確認や、現地の最新の情報などの把握に努め、安全に実施するために必要十分な情報をあらかじめ確認することや、関係業者を利用する場合には関係業者に過度に依存することなく学校が主体性を持って安全確保を徹底することなど各学校に指導している。

岩崎　小百合（いわさき　さゆり）　議員



学校給食の充実とオーガニック給食の推進を

問 学校給食における有機農産物の活用推進に向けた、生産から消費までの仕組みづくりについて伺う。全国の学校給食で有機食品を利用する自治体は、令和２年度の 123 から令和６年度には 328 へ増加。本市でも、令和６年度から有機玉ねぎが使用されている。オーガニック給食の先進自治体である大阪府泉大津市では、令和７年度に「有機 JAS 米」「特別栽培米」を 60％使用。農地が 2.4％と少ないため、農業連携協定を締結した自治体から購入している。この事業で、農家が特別栽培米など、化学肥料や化学農薬を減らした米を生産し始めた事例もある。本市は農地が 40％もあり、生産地と消費地が近い。市がビジョンを示すことで、若いチャレンジャーを引き寄せることも可能ではないか。現状と今後を伺う。

答 令和７年度の有機農業の耕作面積は 0.7％で、米農家は全年代で減少。市がブランド化を先導してきた「吉川のしずく」は価格が通常より高く、給食費を充てることは難しいが、生産者・JA・市の思いが一致した時には、使う可能性もある。

遠藤　義法（えんどう　よしのり）　議員



中央中南　押しボタン式信号機設置で安全対策を

問 中央中学校南、越谷吉川線の横断歩道予定箇所に押しボタン式信号機設置を求める請願が賛成全員で採択されたのが３年前です。吉川警察署は「加藤平沼線に押しボタン式信号機が４か所あり、このうちの一か所を外して要望箇所に移設する考え。どこを外すか吉川市にボールを投げた。しかしボールが返ってこない」と述べています。市の今後の対応を伺います。

答 移設の話は伺っています。加藤平沼線の交通量を調査し、４か所の押しボタン式信号機の利用頻度などの調査を今年実施し、引き続き要望していきます。

地域の公共施設、存続を

問 旭・三輪野江地区の郊外、高齢化が進む市街地、区画整理地の振興地域などの地域でも、現状の公共施設を存続、新設する考えを伺います。

答 旭・三輪野江の郊外や市街地の公共施設は、コミュニティの拠点となるよう維持し、機能的にも存続と考えています。区画整理地でも公共施設が果たす役割は重要であり、子育て・文化など公共サービスについて官民問わず、既存施設の活用も含め柔軟に対応していきたい。

雪田（ゆきた）　きよみ　議員



在宅介護従事者の安全確保を

問 今年６月２日、川口市でケアマネジャーがご利用者の家族に殺害されるという痛ましい事件が起きた。厚労省は「複数人で訪問する場合の人件費・交通費補助制度」を新設し、埼玉県は「居宅介護支援事業所等における複数訪問費用補助金」を開始した。県の補助金交付要領には、「概ね３か月で解決するように努める」と記されている。しかし実際には３か月で解決できる困難事例は少なく、もっと複雑なことが起きている。

厚労省は市町村に「必要な対策を積極的に講じる」よう求めている。具体的な市の支援とは。

答 困難事例を１人で抱え込むのではなく、事業所内で共有して問題解決に取り組んでいただきたい。市はケアマネサロンを定期的に開催している。ケアマネの情報共有や事例相談等の機会がある。困難事例について他事業所の経験などから対応を考えることも、ひとつの大きな手段になると思っている。そういった機会を設けながら、市も相談に乗ったり、アドバイスをしたりしながら、そういった事件・事故が起こらないように努めていく。

松﨑（まつざき）　誠（まこと）　議員



原動機付自転車の廃車後の課税と市民への周知

問 原動機付自転車を廃車し、ナンバープレートを返納した後も、自宅に車両を保管していると課税されるため、廃棄処分が必要との説明を受けたという声があります。市の案内では、軽自動車税は毎年４月１日現在の所有者に課税されるとされています。そこで、①ナンバープレート返納と廃車申告は、それぞれどのような意味を持つのか、②適正に廃車申告をした後、自宅で保管しているだけで翌年度以降も課税されることがあるのか、③自動車等にはある一時的な使用中止の制度が、原動機付自転車にはない理由は何か、④市民が制度を誤解しないため、窓口やホームページ等で、より分かりやすく周知すべきではないか伺います。

答 原動機付自転車は、廃棄や譲渡などにより所有しなくなった場合等に廃車できます。所有したまま保管する場合は廃車できず、一時的に使用を中止する制度もありません。市はホームページにＱ＆Ａを掲載するとともに、窓口や納税通知書等で手続きや課税の仕組みを分かりやすく周知していきます。

吉川（よしかわ）　敏幸（としゆき）　議員



災害廃棄物処理体制の構築を

問 ①市では、災害廃棄物の仮置き場を２ヶ所予定しているが、十分と考えているのか。『埼玉県災害廃棄物処理指針』には利根川氾濫による洪水で吉川市では、総量 91,203 ｔの災害廃棄物がでるとされている。②市全体を見て、第二最終処分場跡地の駐車場などを災害廃棄物の仮置き場に検討してはどうか。③仮置き場への搬入に時間がかかり渋滞となる。渋滞は迅速な復旧や支援物資の輸送にも影響が出る。仮置き場での分別レイアウトが重要であるが、案はあるのか。④各自治会に公園等の市有地を災害廃棄物の地域の一時保管所として活用するルール作りは検討していくのか。

答 ①２ヶ所の面積は 3.8ha、利根川の氾濫だと 8.2ha 必要だと想定されている。②東埼玉資源環境組合が所有しているので、吉川市だけで出来るとは考えていない。ただ、仮置き場は考えていかなければならないが、見つからないのが現状。③仮置き場の現場に即したレイアウト案はない。今後考えていく必要がある。④事例は把握している。災害規模、状況に応じて考える必要がある。

飯島（いいじま）　正義（まさよし）　議員



命を守る住宅の耐震化を早急に

問 吉川市の建築物耐震改修促進計画では、非耐震住宅を令和 12 年度までに約 500 戸減らす目標を掲げています。石川県などで進められている手厚い支援を参考に、耐震診断の自己負担の軽減や、耐震改修への補助増額の考えを伺います。

答 これまでも補助額の引き上げや高齢者世帯への加算等制度の拡充を行ってきました。耐震改修と建て替えを選択される方との公平性等を考慮し、慎重に検討していきます。

避難所となる体育館の空調整備を早急に

問 市内の小・中学校、総合体育館は、空調設備が整っています。児童館ワンダーランド遊戯室の整備は令和８年度設計、９年度設置予定となっています。また、吉川美南高校体育館の空調整備は令和 15 年度の予定です。避難所整備のためにも、空調設備の前倒しの考えを伺います。

答 遊戯室は可能な限り早期に着工できるよう取り組みます。吉川美南高校体育館については、埼玉県に対し早期の整備を要望します。

戸田（とだ） 馨（かおる） 議員



職員の働き方、公務員として働く価値について

問 人口減少時代の行政を支える職員をどう育て、定着につなげるのか。支える職員の負担や貢献も含め、働きがいや公務員としての価値を実感できる組織づくりをどう進めるのか。
答 人事評価や業務の平準化、研修・キャリア形成を通じて、職員の成長と貢献を支え、「働き続けたい」と思える組織づくりに取り組む。

人口減少時代のまちづくりについて

問 人口減少時代において、人口規模だけでは測れない「幸福実感」「持続可能性」「地域分権」「社会を開く」といった理念を、今後の行政運営にどう生かし、次の世代にどのような吉川市を手渡していくのか、市長の考えは。
答 人口の数字だけを追わず、市民の主体的な活動と行政との共動を判断軸に、幸福実感と持続可能性を高める。先送りされた課題に道筋をつけ、多様な意見に向き合い、次世代が未来を描けるまちをつくる。その理念を吉川市の文化・哲学として根づかせるまで力を尽くす。

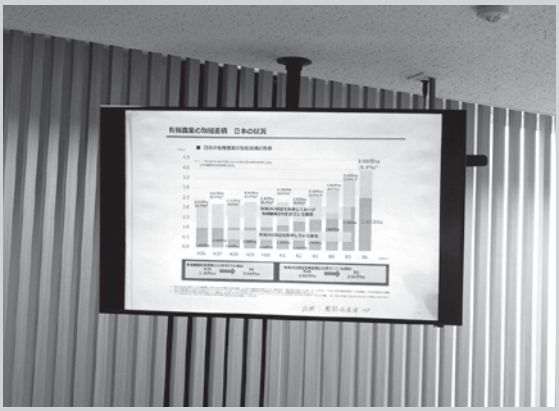
林（はやし） 美希（みき） 議員



市民活動を支える補助交付制度の再構築について

問 協働事業提案制度の検証はどのように進められたか。
答 廃止し、未来ステップアップ助成金の活用を促す。
問 市民提案制度は未来ステップアップ助成金で補完できると考えるが、行政提案制度の機能はどう補完するのか。
答 各担当部門で必要な事業があれば、関係する団体に個別に投げかけ実施する。
問 補助金・交付金の各部署横断的な整理と考えるが、どのように進めるのか。
答 現状を把握するため統一の調査票を作成、109の補助金を対象に庁内関係課に向け調査実施。令和10年度予算編成に向けて精査・分析、他自治体の状況や事例なども参考にしながら検討。
問 地域活動や地域のための単発事業を支援する制度が必要ではないか。
答 地域活性化という視点から、市としてどのような支援ができるのかについて、今後検討していく必要があると考える。

今定例会より、データやグラフを視覚的に表現するため、一般質問で議員が使用する資料が、議場モニター・傍聴席モニターに表示されるようになりました。
今後も誰もが分かりやすい議会運営に努めてまいります。





令和８年９月定例会提出議案とその結果

【○：賛成　×：反対　◎：議案提出者　退：退席　欠：欠席　議：議長（議決に加わりません）】

議案番号	会派名及び議員名 ＼ 議案名	議決結果	ＳＥＬＥＣＴ吉川						共産			公明			平和			自民		未来		無
			菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	野村 拓郎	宮窪 雅一	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐恵千子	大泉 日出男	岩崎 小百合	岩田 京子	降旗 聡	吉川 敏幸	松﨑 誠	戸田 馨	林 美希	加藤 克明
≪市長提出議案≫																						
第42号	吉川市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第43号	吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×
—	「第 43 号議案 吉川市立学校設置条例の一部を改正する条例」に対する付帯意見	可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	◎	○	×	×	×	×	×	○	○	×
第44号	吉川市職員定数条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第45号	吉川市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第46号	市道の路線廃止及び認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第47号	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第48号	令和７年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	令和７年度吉川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第50号	令和７年度吉川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第51号	令和７年度吉川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	令和７年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	令和７年度吉川市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第54号	令和７年度吉川市下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	令和７年度吉川市農業集落排水事業会計資本金の額の減少及び決算の認定について	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	令和８年度吉川市一般会計補正予算（第２号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案番号	会派名及び議員名 / 議案名	議決結果	SELECT吉川						共産			公明			平和			自民		未来		無
			菊名 克典	赤出川 義夫	中嶋 通治	稲葉 剛治	野村 拓郎	宮窪 雅一	遠藤 義法	飯島 正義	雪田 きよみ	小野 潔	五十嵐恵千子	大泉 日出男	岩崎 小百合	岩田 京子	降旗 聡	吉川 敏幸	松﨑 誠	戸田 馨	林 美希	加藤 克明
≪市長提出議案≫																						
第57号	令和８年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	令和８年度吉川市介護保険特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	令和８年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号	令和８年度吉川市吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第61号	令和８年度吉川市水道事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第62号	令和８年度吉川市下水道事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第63号	令和８年度吉川市農業集落排水事業会計補正予算（第１号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
≪議員提出議案≫																						
議提案第６号	売春防止法並びに風俗営業法を改正し、性産業に対する実効的な法規制強化を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	議	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
議提案第７号	多様な民意を歪める衆議院比例定数削減に反対する意見書	否決	×	×	×	×	×	×	◎	○	○	議	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×

＊会派名、「セレクト」は「ＳＥＬＥＣＴ吉川・自民・参政・維新・無所属」、「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議団」、「平和」は「平和市民クラブ」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来」は「未来会議よしかわ」の略です。「無」は会派に属さないものです。

～会議録の冊子は本会議・委員会ともに次の場所で閲覧できます～

市立図書館・視聴覚ライブラリー・
中央公民館図書館・旭地区センター図書館・
議会図書室・市政情報コーナー

～市議会を傍聴してみませんか～

●定例会（３月、６月、９月、12月）と、必要がある場合に開かれる臨時会があります。

●本会議、委員会は、所定の受付簿に住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。



市のホームページでは、会議の日程や意見書の全文、本会議の会議録、議会活動などがご覧いただけます。

https://www.city.yoshikawa.saitama.jp/index.cfm/34,0,260,html

12月定例会の予定　市の重要な施策や皆さんに身近な問題が審議されます

日	月	火	水	木	金	土
			12月2日 本会議 （開会日）	**12月3日** 休会日 （議案調査）	**12月4日** 本会議 （議案審議）	**12月5日** 休会日
12月6日 休会日	**12月7日** 委員会 （総務健康・こども教育）	**12月8日** 委員会 （建設生活）	**12月9日** 委員会 （請願審査）	**12月10日** 休会日 （委員長報告作成日）	**12月11日** 本会議 （委員長報告）	**12月12日** 休会日
12月13日 休会日	**12月14日** 本会議 （一般質問）	**12月15日** 本会議 （一般質問）	**12月16日** 本会議 （一般質問・閉会日）			

・日程は予定であり、変更となる場合がございますので、ご了承ください。
・本会議は 10 時、委員会は 9 時 30 分に開会します。
・本会議の様子はインターネットでもご覧いただけます。

表紙の写真



吉川市役所から臨む吉川運動公園の写真です。スポーツなどを楽しめる日頃の姿と全く違いますよね。水をなみなみとたたえながら青い空を反射している姿に「美しい」とすら感じますが、調整池としての機能がここまで発揮されるほどの雨の強さへの危機感も同時に覚えます。今定例会中、および前後、深夜に吉川市災害対策本部が設置されることが複数回ありました。公助がみなさまに届くため、自助力・共助力も高めていきましょう。

林　美希

編集後記

今定例会では、旭小学校と関小学校の統合に関する議案が審議され、10対9の賛成多数で可決しました。学校の統合は、児童の教育環境だけでなく、通学、保護者、地域コミュニティなど様々な課題に関わる重要なテーマです。採決が行われた本会議には55人もの方々が傍聴に訪れ、吉川市議会でこれまでで最も多い傍聴者数となりました。そのことからも、この問題への関心の高さがうかがえました。

条例の可決後も通学路や通学方法の検討、保護者への説明、児童間の交流など、統合に向けた取り組みが続きます。旭小学校の跡地や地域コミュニティをどうしていくのか、地域のこれからについても市民が納得いくよう共に考えていくことが大切だと感じます。

吉川　敏幸

発行／吉川市議会　**編集**／吉川市議会広報委員会　〒342-8501　吉川市きよみ野一丁目１番地
TEL 048(982)9421(議会事務局直通)　FAX 048(981)5392　HP https://www.city.yoshikawa.saitama.jp